

## 【事例様式6：自己点検シート(基本ケア)について】

★「自己点検シート(基本ケア)」の作成を通してあなたのケアマネジャーとしてのアセスメント等取組状況を振り返っていただきます。

(申し込み時に提出した自分の事例に対する取組状況を通して振り返ることに加えて、あなたが担当している対象者すべてに対する普段のアセスメント時における「情報収集」や「支援の必要性の判断」等に対する取組状況の傾向も合わせて振り返る)

### <作成方法>

- (1) 「自己点検シート(基本ケア)」の『想定される支援内容』(全44項目)の「(1)ケアプラン作成時点の判断」①②③欄と「(2)現在(項目を見た後)の判断」④欄への○×▲のチェックを、添付資料「概要版(項目一覧)基本ケア」における『支援の概要、必要性』及び『主なアセスメント項目』、添付資料「適切なケアマネジメント手法の手引きその2」の第4章『基本ケアの項目を見てみよう(31頁～)』も参照しながら、全44項目について行う。
- (3) 44項目の中で×や▲のチェックがついた項目について、なぜ実践においてできていなかったのか(原因)を『**省察★**』し、⑤欄「なぜ実践においてできていなかったのか？」欄に自由記述にて記入を行う。

### ★省察とは?

自分のことを省みて、その行動などの適不適・良し悪しとその理由(原因)などについて考えめぐらすこと。これをアウトプット(自由記述する)ことで客観化させ、客観化させることで自分でも客観視できるようになり、自分の行動変容の具体的な行動指標や目標とできるだけでなく、他者と共有化が図れるようになる。多くの他者との共有化をすることで、他者の知見を自身のものとしても得ることができるようになる

★作成した自己点検シートは演習で使用しますので、**必ず写しを保管**してください。

### ★印刷について【Excelの場合】

文字が見辛い場合は、タブ『事前課題の自己点検項目のみ』を使用してください。

⇒**A3版縦**で印刷すると最も大きく表示されます

※PDFを使用する場合は該当のファイルを選択

### <付随資料>

- ・適切なケアマネジメント手法の手引き
- ・適切なケアマネジメント手法の手引き(その2)
- ・概要版項目一覧(基本ケア)